

【成果を出す組織を作るマネジメント】シリーズ

機械等が止まると仕事が止まる現代環境

強い組織、強い現場を作るための、やさしい現代マネジメント！

【機械やシステムに取り囲まれた仕事環境】

ビジネスでも日常生活でも、私たちは様々な機械に取り囲まれています。また、重要業務をインターネットやメールで行うようになった昨今、通信ができなくなると、仕事が止まるというケースも急激に増えて来ました。

そればかりか、ホームページで問い合わせを受けるケースでは、『意味不明な記号文字でのいたずら申し込みが増えた』と嘆く声も聞こえます。

【少しの作業で問題解決】

ところが、その“いたずら問い合わせ”も、ホームページの設定を少し変えるだけで、撲滅できるという指摘もあります。しかも、それを知るためにプログラムを学ぶ必要はなく、“ネット上での検索力”さえあれば良いとされるのです。

【ネット上には有益な公開情報が多い】

インターネット上では、様々な問題に対し“こうすれば解決する”という公開情報が、案外多いからです。

少し古い機械に関しても、ネット上で取り扱いや不具合解消法等が公開されています。

【ネット検索力が暗中模索を解消する】

つまり、《機械やシステムに取り囲まれたわけのわからない状態》も、ネット検索力で解消できる可能性が大きいということです。

社外に機械やシステムの支援者が存在する時でも、ネット検索で“問題を把握”することができれば、自分でできることと依頼すべきことの区分けが明確になり、時間や費用の節約が可能になるという点で、その効果は大きいでしょう。

【検索力はどのように養えるのか？】

しかし、検索力は“どのように”養われるのでしょうか。そしてそれは、組織的な業務として“どのように”取り組み得るのでしょうか。

そこで、ある企業のケースを追ってみることに致しました。

【マネジメント・レポートを差し上げます！】

その内容は、具体的な状況を踏まえながら、その要点をまとめたマネジメント・レポートとしてご用意しています。詳しくは、レポートでご確認ください。有料定期購読希望をお知らせ頂ければ、pdfで送ります。



事務所でインターネット通信ができなくなれば、取引先にメールで文書が送れなくなるのが昨今の現実です。もちろん、今までもFAX機の故障で、発注書が送れないこともありましたが、しかし、FAXならコンビニから送ることもできたのです。

機械が複雑になり、代替法が少なくなる中で、“機械が占める業務上の重要性”は益々大きくなったと言えそうです。そんな機械と、どうすれば有効な“付き合い方”ができるのでしょうか。

中堅中小企業の皆様に、現代的な“人”マネジメントの視点から、重要なニュースやノウハウをお届けする月例『経営さぶりめんとニュース』に、ご意見やご感想をお寄せください！

行政書士・社会保険労務士へんみ事務所  
行政書士・特定社会保険労務士 邊見 努

TEL : 022-292-2351  
FAX : 022-292-2352